

第85号

平成28年3月31日発行
大峰寮・保護者会・後援会



再生紙はがきを
作っています

今年も作業がんばります!

ごあいさつ

寮長 佐藤 聡雄

日頃より大峰寮に対しまして、関係者皆様方の温かいご支援とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、予てから各方面にお約束させていただいた、日中活動の場として生活介護の定員を増員し、「通所部」としてスタートすべく準備を進めました。地域交流ホームを活用するための改修工事、利用者の送迎用車両（リフト付）の導入と準備を整え、4月から開始をはじめます。今後も様々な要望に応えるよう建物本体の老朽化（インフラ関連の設備の経年劣化）、利用者皆様の高齢化への対応との兼ね合いを図りながら進めなければならぬのが現実です。関連する皆様からのご指導もいただきながら考えていかなければと思っています。

昨年末から「五十肩」に悩まされ難儀しています。常に数種類の薬を服用しなければならぬことと合わせ、健康のありがたさを痛感しています。

今年は、「申年」です。病氣、災いが「去る」と言葉の語呂もいいことから縁起がいい年とされます。

どうぞ皆様も健康に留意され「申年」が実感できる年とられますようお祈りいたします。

助成していただきました

公益財団法人・日本財団の福祉車両助成へ応募申請していたところ、今回無事に審査が通り『日産キャラバン』リフト付き車椅子2台対応10人乗りが配備されたものであります。

次年度から新たな新事業を展開していく上で、機動力を高めることができる車両を戴いたことは、私達にとって大きな力になり本当に有難く思う次第であり、今後は大切に使用させていただきます。

日本財団様には、心から感謝申し上げます。



さっそく4月から始まる「生活介護」通所部の送迎に大活躍!!
車椅子利用者の活動範囲が広がり、みなさんと一緒に楽しむことができます!

保護者研修会に参加して

相談支援専門員 中澤修一

いつもお世話になっております。「相談支援センターおおみね」にて相談支援専門員をしております中澤と申します。平成26年度から相談業務に携わっておりますが、それ以前は8年間「大峰寮」の支援員として利用者さんの生活のお手伝いをさせて頂いておりました。

さて、この度「平成27年度大峰寮保護者研修会」に参加させて頂きました。今年度の保護者研修会は、10月24日(土) 10時～15時の日程で、午前は村上市にある障がい福祉サービス事業所「すずかけ」さんを見学し、午後からは「割烹北辰館」を会場とし、昼食及び「相談支援」をテーマとした意見交換が行われました。

「相談支援」をテーマとした意見交換では、ご参加いただいた保護者の方から「知らない事業所から電話が掛かってきて、何のことか分からなかった」や「どうして相談支援が必要なのか?」といったような相談支援に関することのみならず、普段感じていらつしやることや率直なご意見などもお聴きすることができ、私自身とても貴重な機会であったと感じております。現在、相談業務と大峰寮の支援業務を兼任する形で異なった立場の業務を行っておりますが、兼任しているからこそ見えてくるものや気付くものも多くあります。今後もこの強みを活かして、日々の業務にあたって行きたいと考えております。

尚、研修会閉会の際、事務局より来年度はより多くの参加をお持ちしておりますとお話しがありました。



生活介護(通所部) 内覧会を開催しました

支援課長 須藤 純一

平成28年4月生活介護(通所部)開設にあたり、拠点となる地域交流ホームの改装工事が終了したことに合わせ、去る2月2日(火)新発田市、胎内市の相談支援事業所、関係行政機関、胎内市育成会様等13団体23名の方に参加いただき内覧会を開催しました。

当日は、活動内容の説明、寮内設備を見学していただき、限られた時間でしたが御意見も多数伺うことが出来ました。様々なニーズがある中、既存の施設で出来ることは限られますが、今できる最大限のことをお手伝いさせていただくこととともに、伺った意見を参考に今後順次整備を進めて行ければと考えております。



生活介護が始まります

ボランティアの皆様へ感謝

ボランティア懇談会を終えて

ボランティア係 曾山 尚

12月11日、大峰寮地域交流ホームで、平成27年度ボランティア懇談会が開催され、今年度は7団体7名の方が参加して下さいました。そして、ボランティアとして11団体212名の方が来寮して下さいました。誠にありがとうございました。

懇談会は毎年12月に行われ、今年度の反省と次年度への要望、日程の調整が行われます。わずかな時間ではありましたが、皆様から頂いた貴重なご意見を次年度に役立てたいと思います。

今年度、私は係りとしてボランティア団体の皆様と関わる機会が多くありました。私たち大峰寮は職員だけでは運営できません。関係機関、地域の方々、ボランティアの皆様の助けがあって施設が成り立っているのだと改めて感じました。

私たち大峰寮で今困っていることは、敷地内の整備と利用者が楽しめる余暇の提供です。利用者が高齢になり、見守り支援が必要なため、なかなか敷地内の整備や楽しい余暇が提供できておりません。ボランティア団体の皆様のご協力がなければ難しいのが現状となっています。今後もボランティア団体の皆様のご支援ご協力をお願い致します。